

あしたの風

第96号

令和5年2月1日発行
編集発行 秋田市教育委員会
生涯学習室

秋田市の生涯学習



仁井田小学校「子ども見まもりたい」
～地域の子は地域で守る～
～南部地区～

☆☆中央地区☆☆

鳶の人々

中央地区生涯学習奨励員 佐々木 孝

私は今、顧問として鳶の会に所属している。高専の教育に従事していたとき、研究室に突然鳶の親方の訪問を受けた。話は、鳶の親方の会への参加をお願いしたいということであった。私は、大学を卒業して三菱地所に入社し、当時盛んに行われていた丸の内界隈のビル立替工事に投入されていた。鳶という職業をつぶさに観察したのは、その時である。一歩間違えば30m落下するという鉄骨工事で、仮設の梁の上をスタスタと渡り歩く鳶職人が昼休み時に、英字新聞を広げているのを見て驚いた覚えがある。

ご存知のように、鳶職という仕事は、一つ間違えば命に係わる危険と裏腹の仕事で、その故もあるのだが、鳶の人々とのつきあいは、さっぱりとしていて分かりやすい。

秋田市川尻にある総社神社に建立されている鳶の顕彰碑を依頼されたいきさつについて触れよう。

今思えば当時に事務局長をしておられた佐藤氏が、秋田高専の教職にあった私の研究室を訪れ、総社神社の顕彰碑を任せられた。突然の事でもあり、又、当時私は経験がないことから再三辞退したが佐藤事務局長は「佐々木さん以外は考えられない」と一歩も引かない頑固さであった。碑文もさることながら、顕彰碑は初めてながらやむを得ず引き受ける事になった。

を調整してもらったり、今では完全に鳶の仲間となってしまうている。

※鳶職の由来

鳶職の由来には諸説あるが、「江戸時代の職人が『鳶口（とびぐち）』という道具を使用したのが元になっている」という説。

あるいは「高所で作業をしている姿が大空を羽ばたく鳶に似ているから」という説など。

鳶口とは、鳶のくちばしに似た鉄の鉤（かぎ）が付いている棒状の道具をさし、消防現場で木材を移動したり木造建築物を解体したりするのに使われるのが一般的である。江戸時代の職人は、建設作業と並行して消防活動にも従事していたため、道具の名前を取って「鳶職」と呼ばれるようになったともいわれている。



鳶職という仕事は、ひとつ間違えば命に関わる危険と隣り合わせの仕事



鳶のくちばしに似た鉄の鉤が付いている『鳶口』

☆☆西部地区☆☆

温故知新

NPO新屋参画屋 富野 昭雄

昨年、地元新屋歴史探訪の案内役を仰せつかった。生涯学習奨励員からの依頼で、以前私も長く所属し学習していたので、古巣からのお声がけになる。日吉神社からスタートし、幕末海岸警護の新家として移住された小西家の氏神様↓森川源三郎翁の余楽庵↓戊辰の役殉難者佐賀藩士の眠る葉隠墓苑↓戊辰の役佐竹義脩の本陣となった忠専寺↓新屋ガラス工房見学の後、明治二十三年築の渡辺幸四郎邸にて配付資料に基づき説明することができた。

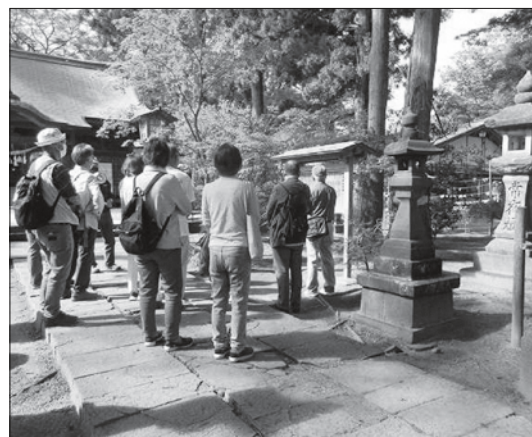
さて、題目「温故知新」であるが、最近の私の行動からすれば「知」ではなく「地」としたい。親友と県内や隣県の神社、仏閣、自然探訪のため、旧道を散策している。身近にある神社の石碑、獅子と狛犬、向かって右は獅子、左は狛犬だが、一体として同じものはなくその姿も魅力にあふれている。

旧道に沿っての町並みの雰囲気や自然は、バイパスに展開される全国同じ景色とは別世界で、樹木すら違っている。時には、巨木に出会ったりする。県内では由利の千本カツラ、横手山内の筏の大杉、また、江戸時代初期に設定された日本橋からの羽州街道一里塚、県内で当時の樹木が残っているのは湯沢愛宕町槻ノ木、六郷の櫨の二か所しかない。

これらの木は数百年往来する人々や参勤交代の様子等世相を見つめているので、会話ができるとすれば是非とも聞いてみたい気がする。新しい土地を訪ね故を知るのは楽しみである。



身近にある神社・仏閣でも
魅力にあふれている。



歴史探訪は日吉神社から

☆☆ 南部地区 ☆☆

地域が繋ぐ絆と笑顔の輪

仁井田小学校子ども見まもりたい 長谷川 拳 太

令和元年十月末（当時高校二年生）の時から母校である仁井田小学校の「見まもりたい」をさせていただいております長谷川拳太と申します。

私は、当時秋田市内の高校まで自転車通学してました。

その時に雨の日も雪の日も子どもや地域の安全を守り、笑顔であいさつをしている見まもりたいの方々の姿を目にしました。私自身も小学生の時に見まもりたいの方々に支えられ、お世話になっていたことを思い出しました。小さな事でも気にかけてくれて、時には交通安全のために厳しく注意してくださいました。その方々に憧れ、また大好きな仁井田に恩を返したい、地域に貢献したいという思いがしだいに高まり活動を始めました。

活動中、地域の方々からは、普段聞くことのできない話を聞いて、日々、学ばせてもらっています。休みの日には地域の児童館に行き、子どもたちと遊ぶことがあり、八年前から子どもからケンタッキーと呼ばれ、今でも呼んでくれる子がいます。

子どもや地域の皆さんと関わるうちに仁井田の良さや魅力を発見するとともに子どもたちの元気な姿からいつもよい刺激をもらっています。

活動を始めて気がついたことがいっぱいあります。地域という存在がこんなにも素晴らしいということ、やらなければわからなかったかもしれない。仁井田の温かさもわかりました。

地域づくりは、人づくりであると思います。これまで、仁井田の皆さんが繋げてきたくれたものを大切にこどもたちに伝え、大人になった時に伝

わってくればなと思っています。身近な世代として子どもたちに寄り添いながら、よいお手本になれるよう、私自身も交通安全に限らず気をつけていきます。子どもは、地域の宝です。家庭、地域、学校が一体となって子どもたちを見守っていただけらなと思っています。また日頃から地域の皆さんには、通学路での徐行、一時停止など最大限のご協力をいただき、感謝で一杯です。



大好きな仁井田に
恩を返したい。



子どもは、地域の宝

☆☆雄和地区☆☆

日々の暮らしからの学び

雄和地区生涯学習奨励員 相澤 静枝

一生勉強、生涯学習など耳にすると「そうだなあ、そのとおりだな」と大きく頷いてしまいます。が、では自身何か学習している事はあるかと問われると返答に困ってしまいます。日々笑顔で楽しく過ごそうとか、何事も一生懸命やっていたれば人生何とかなるのが常です。ただ、自身はその日常の暮らしの中で学ぶことが多いように思います。

植物が好きで、庭や鉢植えで色々な植物を育てています。ご近所さんや友人から花を頂いたりすると、名前や育て方を教わったり、調べたり、名前も分からない時は物知りのご老人に聞いてみたり、芽が出た花が咲いたと喜んでいきます。

花好きから、現在は押し花サークルに参加しております。庭で育てた花や葉を押し花にして、月一のサークルで作品にしたり、額装したり先生や先輩方と楽しく押し花以外の暮らしの知恵なども伺いながら楽しんでいきます。

ご近所さんからのお漬物やお惣菜を頂戴した時には、レシピや作るときのコツなど教わります。今は便利な時代で、ポチッと押すだけで何でも調べられますし、料理動画も即出てきますが、なぜかすぐ忘れてしまいます。対面で教えて頂いた事は、状況やしぐさも含めて覚えていきます。お料理の他、お裁縫も好きで雑巾を縫ったり、このコロナ禍に於いては、大活躍のマスクも百枚以上は作りました。孫が生まれると頼まれずともスタイを縫ったり、またこの数年はゆうゆうクラブで習った布草履作りにもはまっています。古い着物を解

いて、布にして紐にして編んでいくのですが、四年程参加してようやく家族の分を作れるようになりました。

なかなか自由に外出や集まりが難しいコロナ禍ですが、身近な日々の暮らしの中にも私なりの学びがあり、平凡な日常を豊かに彩ってくれているのだと改めて思いました。



家族の分の布草履



植物が好きで押し花サークルに参加

《私と生涯学習・社会教育》

社会教育委員・生涯学習奨励員(土崎)

三浦 研二

平成元年、土崎公民館運営協力委員を委嘱されました。年四回開かれる会議は地域の社会教育に関する事業の企画や運営を話し合うものでした。その後、併せて生涯学習奨励員を委嘱され、事業のスタッフや参加者としてその役割を担ってきました。

私は、主に戸外での事業に関わってきました。駒ヶ岳登山、キャンプ、地引網、カヌーなど、小学生とその家族を対象とした事業です。体験したことは子どもたちにとっても、楽しい思い出であり、また学びの場でもあったことでしょう。私にとっても地引網は初めての体験で、学びの喜びと収穫の喜びを一緒に感じていました。

平成二十三年、社会教育施設として公民館が担ってきた社会教育事業が北都市民サービスセンターへと移ったことにより、事業のあり方の変化に不安や疑問を感じていました。

そして、社会教育や生涯学習についての知識が乏しかったことに気づきます。還暦を迎えたこの年、疑問を残したくない一心で、学び直しを決め、通信制の大学に入学し、生涯学習について学び始めました。以来、七年半を経て卒業はしましたが、新たな疑問が現われ解消したとは言えませんが(でした)。

今年度、三年ぶりに一堂に会しての全国社会教育研究大会広島大会が開かれ、参加の機会をいた



社会教育研究大会でのぼり旗を掲げる様子

だけ行ってまいりました。鈴木眞理会長のあいさつに、「…(社会教育という)我々がやっていることに完成形はないのだ」、「…(ということ)を」理解しながら日常的な活動をして行ければいい」とありました。私の疑問が解消できそうな言葉でした。

社会が変化していく以上、完成はないということを知り、その時々課題に対応できるスキルを身につけていくことがこれからの私のテーマです。



地域づくり自主企画事業
「フラワーアレンジメント教室」
(令和4年10月22日開催)



とれたてのヒラメを持っているのは「私」です



今回は3年ぶりの対面開催でした。
受賞者の皆様おめでとうございます。
(代表謝辞は京野香さん)

おめでとうございます。
今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

※敬称略

- | | | | | | | | | | | |
|-------------|--------|--------|-------------|--------|--------|-------------|--------|-------------|--------|--------|
| 中央地区生涯学習奨励員 | 小野 陵 子 | 高橋 若 子 | 土崎地区生涯学習奨励員 | 高橋 紀 子 | 京野 香 子 | 南部地区生涯学習奨励員 | 鈴木 房 子 | 雄和地区生涯学習奨励員 | 伊藤 隆 子 | 工藤 一 志 |
|-------------|--------|--------|-------------|--------|--------|-------------|--------|-------------|--------|--------|

令和四年度
秋田県公民館連合会表彰
表彰者(個人)



社会教育功労者表彰

(文部科学大臣表彰)

土岐地区生涯学習奨励員

三浦 研 二

社会教育計画の分野における功績がたたえられたものです。
おめでとうございます。今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



社会教育委員の会議で表彰の報告をする様子

【令和四年度研究大会について】

第四十二回秋田市生涯学習奨励員
研究大会を開催しました。

令和四年十一月二十九日、秋田市北部市民サービスセンターを会場に研究大会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度同様、施設見学および情報交換会は開催しませんでした。六十名の方々に参加していただき、講師である小玉弘之先生(秋田県医師会前会長)の講話に、熱心に耳を傾けていました。

この場をお借りし、奨励員の皆様、小玉先生に改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。



市研究大会ではこれからの社会における高齢者の活躍について学んだ。

編集後記にかえて

サッカーW杯の日本代表の活躍はまさに歴史的快挙と呼べるのではないだろうか。感動、勇気、希望：多くの国民がポジティブなエネルギーを受け取ったように思う。

また、メッシ選手をはじめ、各国の選手を取り巻くドラマチックな背景も、大会の盛り上がり華を添えた。ある民間会社の試算によれば、今回のW杯の経済効果は、国内だけでも一六三億円に上るといふ。

さて、二〇二二年を代表する漢字は「戦」であった。W杯がその陽の部分であるとすれば、長期化するウクライナ戦争や、新型コロナウイルス感染症との戦いはその陰の部分になるのだろうか。

私たちの日常にあっても、社会の先行きが不透明な中、子ども・高齢者等への虐待等の痛ましい事件を目にすることが多い。そしてその度に、「生きることは戦うことである」との古代の格言が脳裏をよぎる。

今回のW杯はそんな世の中にあって、団結や連帯の大切さ、尊さを再確認させてくれたようにも思う。

(石塚)

編集委員 (秋田市生涯学習奨励員)

- 佐々木 孝(中央) 佐藤 美枝子(土岐)
- 佐々木 裕佳子(西部) 坂田谷 義憲(東部)
- 藤原 博子(南部) 中泉 雪子(北部)
- 石塚 小枝子(河辺) 石井 榮美(雄和)

『あしたの風』第九十六号

発行年月日

令和五年二月一日

編集発行

秋田市教育委員会生涯学習室
秋田市山王一丁目一番一号

電話 〇一八—八八八—五八一〇

この広報誌は

発行部数 一一一〇〇部

配布方法 無料配布

